

一枚の写真

連載
第128回

私の財産

谷本 満

四国アルフレッサ(株) 香川営業部高松第二支店 高松三課長

皆さん、スポーツと言えれば何を思い浮かべますか？ おそらく、野球やサッカーを思い浮かべますよね。昨年のリオオリンピックでは、日本人の活躍が目立ちました。そして、日本人初のメダルも多く見受けられました。その中でも私が最も嬉しかったのは、卓球競技男子の団体銀メダル、シングルス銅メダルという卓球界日本人初のメダルを獲得したことでした。

私が卓球というスポーツに出会ったのは、中学校1年生の時でした。目立ちたがり屋の自分は、軽い気持ちで個人戦が出来るスポーツをしたかったので野球やサッカーには興味がありませんでした。しかし入部してみると、当時の顧問の先生が学校で1番厳しくて、自分が思っていたようなスポーツではなく毎日が地獄のようでした。しかし、知らないうちに強くなり、県大会でも上位に進むことができました。中学生最後の試合では、四国大会まで行くことができたので自分としては大満足でした。そんなある日、地元の名門校の卓球部の監督さんが中学校に来校され「県大会で優勝したくないですか？」と聞かれました。その時は、高校ではもう卓球はしなと思っていましたが、監督さんの温かい言葉に心を引かれ誘われるままにその高校に入学しました。いざ入部してみると、中学校とは比べものにならないくらいの地獄をみました。何事も連帯責任で自衛隊並みのランニング、筋トレ、あの時、優しく声をかけてくれた監督さんとはまったくの別人でした。平日5時間、土曜日7時間、日曜日9時間の練習の日々でした。休みは、お盆の1日と大晦日の半日、元旦の1日

で、春休み、夏休み、冬休みはほとんど県外への遠征がありました。1年生の時は結果を全く残すことが出来なかったのですが、香川県高等学校総合体育大会では2年生の時に、団体戦、シングルス、ダブルスの3冠のタイトルを獲得ことができました。3年生の時は、団体戦とダブルスの2冠を獲り、シングルスでは、ダブルスのパートナーに負けました。最後のインターハイでは、団体戦とダブルスで出場しましたが、ランク決定戦で負けてしまいベスト16でした。自分が目標とした県

大会優勝や四国大会優勝、国体出場の夢が叶って良かったと思いました。卒業の際には、関西の5校くらいの大学から声をかけて頂きましたが、進学せず実業団チームに入社しました。約16年半そのチームにお世話になり、日本リーグや全日本選手権、国体などに出場させていただき、先輩方や指導していただいた方々には感謝しています。



右側が筆者

卓球を通して、感謝する気持ち、何事もあきらめない、勝ちに拘ることなどを学び自分自身の財産になりました。それは今の仕事にも通じています。

福原愛ちゃんが卓球界を盛り上げて、現在では中学生や高校生のレベルが上がってきています。東京オリンピックでも男女のメダルが期待できると思っています。

今後は、厳しい環境で耐え抜いてきた根性で、仕事と卓球の良き指導者になれるよう日々努力して、部下や後輩を育てていきたいと考えています。

皆さんも1度卓球をしてみたいはいかがですか？健康にもいいですし、めちゃくちゃ面白いですよ！